

JSA 宮崎支部事務局ニュース

2007年11月15日発行

日本科学者会議宮崎支部事務局連絡先 : 〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1
宮崎大学教育文化学部 野中善政 気付
電話/ファックス 0985-58-7511、電子メール miyazaki@jsa.gr.jp
郵便振替口座 02010-4-15455 加入者名 日本科学者会議宮崎支部

(第 25 回九州地区シンポジウム in 沖縄について)

「九州シンポ in 沖縄」の企画内容について（11 月 12 日現在）九州シンポの企画内容が固まりつつあります。宮崎支部からは藤原宏志氏、平野公孝氏がそれぞれ「食料安保」、「大学をめぐる情勢」で報告する予定になっています。以下に日程・講演予定者等についてお知らせします。

- (1) 開催日：12 月 8 日（土）、9 日（日）
- (2) 会場：八汐荘（那覇市松尾・モノレール県庁前駅から徒歩 5 分）
- (3) 日程：
 - 1 日目 全体テーマのもとに講演・報告・討論（約 4 時間）、夕方に懇親会
 - 2 日目 （1 部）大学情勢についての報告・討論
（2 部）エクスカージョン
- (4) 内容：

[1 日目] 全体テーマのもとに講演・報告・討論：13 時 30 分～17 時 15 分

地域の内発的発展の障害物・問題に関連して、九州地方区会議で提案された具体的テーマである、基地問題、教育「改革」、労働法制「改革」、環境・食料・人権問題などに加えて、原爆の内部被爆問題、教科書検定なども取り上げる、更に新教育基本法制定後の各県の現状報告していただく。また、9 月 29 日に開催される教科書検定意見撤回を求める県民大会の総括的な内容も可能なら盛り込まれる。

基調講演：高良鉄美、他の報告：梅木利巳（福岡）「食料安保・食料主権・地産地消」、藤原宏志（宮崎）「食料安保」、前川（沖縄）「泡瀬干潟問題」、土田（沖縄）「辺野古問題と環境アセスメント」、山口（沖縄）教科書問題

[2 日目] 大学をめぐる情勢報告と討論

「地区シンポの重要な意義の一つであることから、今回も引き続き、報告と問題提起を各支部に要請する、各支部（県）が異なる状況に置かれた高等教育・研究機関を抱えており、そこでの問題点や要求、取り組みの成果などを出し合う中で、共同の可能性を追求していくことを目指す、教育再生会議答申のような、現行制度をはるかにしのぐ強烈的な競争と選別の政策が導入されようとしている下で、特に学長選考のあり方について焦点を当て、各大学の学長選考の現状と課題を報告してもらい、これを一つの素材にして、大学問題の認識を深める。各大学から学長選挙の取り組み・状況、その他大学をめぐる情勢について報告していただく。

基調講演：矢ヶ崎（沖縄）「科学と大学のあり方」、他の報告：平野公孝（宮崎）「大学をめぐる情勢」他。

（文責 野中）

(10 月 23 日支部例会「教育関連法の『改正』と大学：大学農場と文科省との対話から」)

参加者：西脇（報告）、長谷川、川村、長田、野中（5 名）

内容：教育基本法「改正」により、政府は国民教育に対する財政負担の義務から解かれ、政府が評価する「教育」に対してのみ選択的に競争的資金を配分することが合法化された。また学校教育法「改正」により、大学の理念—学問の自由と自治に立脚する一が変質し、大学は職業人養成と地域社会（産業）への貢献を目的とする「高等教育機関」と定義され、外部評価と FD が義務化された。農学部フィールドセンターは教育行政の方向転換に大きな影響を受け、ルーチン的な教育・業務に必要な設備の更新費でさえ予算化されなくなり、競争資金や学長裁量経費に申請せざるを得なくな

っている。大学に来る文科省担当者の中には、農場の困難な状況をわきまえていない人もいる。

(文責 野中)

「教職大学院と教養教育を考える懇談会」が開催されました！

11月9日の16:30から、宮崎大学工学部大会議室において、標記の懇談会が開かれました。参加者は、宮崎大学の4学部全てから13名の教員が出席しました。この懇談会は、来春、教育文化化学部に設置予定となっている教職大学院が、宮崎大学の教養教育(共通教育)の円滑な実施にどのように関連するかについて、率直な意見交換を行うことを目的として、科学者会議宮崎支部が企画したものです。話題提供者は、教育文化化学部の岩本先生が担当されました。教職大学院のカリキュラム概要や担当教員等について報告がなされ、続いて現在の教育文化化学部で共通教育を担当している実情や教養定員といわれる教員数の変化等の今までの経過について話が及びました。これらを踏まえて、今後の教養教育の担当体制の構築がきわめて重要となるが、しかし、各教科に関する具体的な数字には、かなり未確定な部分が多いことの紹介があった。意見交換では、教職大学院に関わる実務家教員や新たに採用予定の研究者教員と教養教育との関係について活発な議論が、展開された。更に、国立大学法人の運営費交付金に対する効率化係数による教員削減、また、公務員の定員削減に伴う教員減等が、教養教育の実施にきわめて深刻な影響を与えている実態も明らかにされた。

(文責 平野)

「九州シンポ in 沖縄」報告会と忘年会の案内

宮崎支部から藤原宏志先生(宮崎大学名誉教授)、平野公孝先生(宮崎大学工学部教授)が九州シンポ(12月8-9日)で、それぞれ「食料安保」、「大学情勢」について発表されます。シンポ終了後、両先生に、講演内容、シンポ全体の雰囲気について、改めてお伺いする会を以下の通り設定しました。多くの会員の参加を期待します。報告会終了後に恒例の忘年会を開きます。

日時：12月15日(土)

(15:30-16:30 支部幹事会)

16:30-17:30 「九州シンポ in 沖縄」報告会

18:00-20:00 忘年会

会場：宮崎オリエンタルホテル会議室、宮崎市広島2-10-22 電話0985-27-3111

[忘年会] 場所：同上、会費：2,500円程度

(文責 野中)

（会計担当幹事からのお願い）

今月号の会報には、既に自動引き落としの手続きを済まされていない会員の方々につきましては『JSA会費自動引き落としのための「預金口座振替依頼書」の書き方』を同封させて頂いております。これはJSA年会費の自動引き落としを申請するための書類です。退会などの理由により、自動引き落としを停止する手続きも簡単ですので(退会が了承された時点で、事務局が自動的に停止の手続きを行います)。会計処理を簡素化するだけでなく、会費の滞納を減らし、会の運営を円滑に行うために、まだ登録されていない方は是非ともご協力頂きますようお願い致します。

(文責 高橋)